

# 京都私立病院協会創立 50 周年記念 京都府知事杯争奪 第 37 回病院対抗女子バレーボール大会

## 京都下鴨病院チームが2年ぶり7度目の優勝 !! 準優勝は宇治徳洲会病院チーム

会員病院 34 チームによる平成 26 年度の第 37 回病院対抗女子バレーボール大会は、9 月 15 日（鴻ノ巣山運動公園市民体育館）の予選大会を経て、10 月 13 日（京都市横大路体育館）と 10 月 19 日（京都府太陽が丘体育館）に決勝トーナメントを開催しました。

10 月 13 日は、予選大会を通過した 28 チームにより、20 試合が活発に行われ、10 月 19 日の決勝トーナメント第 2 日目（最終日）では、決勝大会第 1 日目を通してベスト 8 のチームにより、準々決勝から決勝戦の 7 試合が行われました。

決勝戦は 6 大会連続で宇治徳洲会病院と京都下鴨病院の組み合わせとなり、セットカウント 1 対 2 で京都下鴨病院が 2 年ぶり 7 度目の優勝を達成しました。

宇治徳洲会病院は残念ながら 2 連覇とはなりませんでしたが、安定した実力で準優勝となりました。3 位は京都大原記念病院と宇治武田病院でした。

試合終了後の表彰式では、当協会の岡田純副会長より京都下鴨病院チームに京都府知事杯と優勝旗が授与されました。また、第 3 位までのチームには表彰状やトロフィーのほか、今大会の協賛企業の株式会社公益社よりエンゼル杯（カップ）と副賞の記念品が贈られました。今大会の最優秀選手には京都下鴨病院チームより河村美里選手が選ばれ、楯および副賞が贈られました。続いて根建審判長より今大会の総評をいただき、岡田副会長の閉会の挨拶で第 37 回大会の幕が閉じました。



### 京都府知事杯争奪 第 37 回病院対抗女子バレーボール大会総評

実行委員長 加藤 知子

今年は京都私立病院協会創立 50 周年となる記念の年でした。予選大会は 9 月 15 日に、決勝大会は 1 日目が 10 月 13 日に、2 日目は 10 月 19 日に行われました。最終日は大型台風 19 号が関西に上陸するとの予報が出され、前日から公共交通機関が運休を決定しているという異例の事態でした。しかし、心配していたものの台風の影響もさほど受けず、予定通りに試合を行うことができました。

今大会には 34 チームが参加し、例年に比べると少ない参加数でした。複雑な組み合わせの予選大会を勝ち上がり、28 チームが決勝大会に進みました。

年々感じています。選手個々の技術力の向上に伴いチーム全体のレベルが上がり、参加チームそれぞれに力の差があまり見られなくなりました。今回の予選大会から優勝決定戦に至るまで、フルセットで戦う試合がとて多く、12試合もあったことが出場チーム全体のレベルの向上を証明していると思います。

優勝決定戦では今年で6年連続となる、宇治徳洲会病院と京都下鴨病院との対戦カードでした。結果はセットカウント1-2で、京都下鴨病院が王者奪還を果たしました。両チームとも安定したレシーブ力や、コンビネーションからなるスパイク技術の高さが光り、好プレーの連続でした。今大会の象徴ともいえる素晴らしい試合であったと思います。

就業しながらのクラブ活動は難しいことですが、チームにおいて楽しみや達成感など目標を共有し合い、継続して取り組んで頂ければ良いと思います。来年はまた新しい記録や記憶が残るよう、今年以上の盛り上がりになることを期待しています。

最後になりましたが、今大会を開催するにあたり、岡田副会長をはじめ実行委員の皆様、大会事務局、協賛を頂きました株式会社公益社様、そして今大会にご参加頂きましたチームの皆様へ感謝を述べさせて頂き、私の総評とさせて頂きます。ありがとうございました。

## 優勝して

河村 美里

昨年、宇治徳洲会病院に決勝戦で負け、5連覇という目標が途切れてしまいました。今年はリベンジとして優勝旗を奪還するという思いで試合に臨みました。しかし、なかなか全員揃っての練習が出来ず、チーム練習が出来ないまま初戦を迎えました。

大会一日目、今年はチーム数が減ったということもあり、実力派揃いのチームばかりでした。初戦の相手は足立病院。振り返ってみると、今大会の中で一番ヒヤヒヤした試合だったと思います。しかし、ここで負けるわけにはいかないという執念の気持ちがチーム全員にあったからこそ勝てた試合だと思っています。

一試合終わるごとに練習出来なかった分のチームワークを取り戻すことが出来たのではないかと感じます。

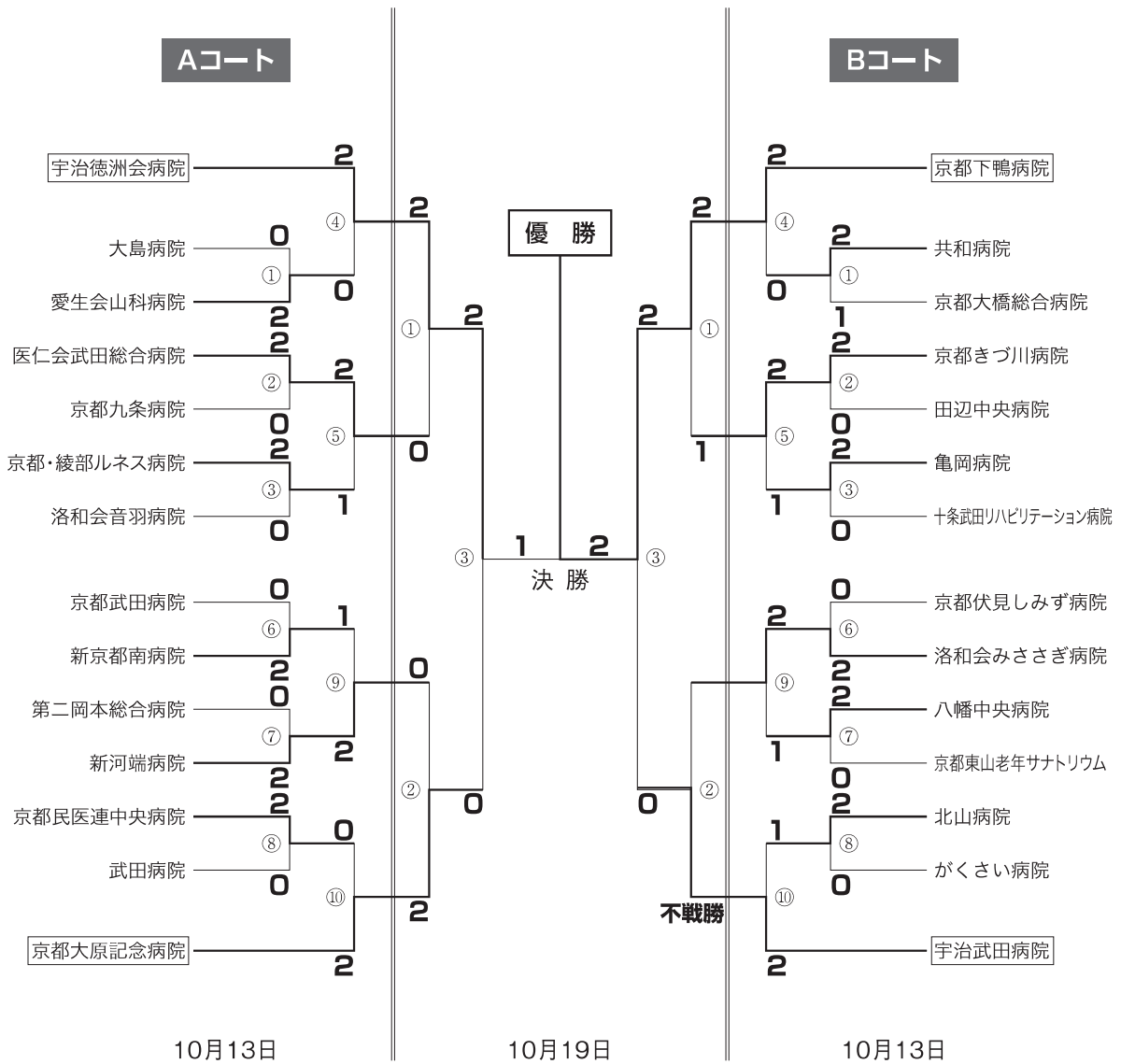
そして迎えた決勝大会2日目。正直緊張と不安でいっぱいでした。準々決勝では1セット目を取られてしまい、このまま負けてしまうのではないかと感じました。でも、セットを落としたことによりチームが一丸となりプレーすることが出来ました。

決勝戦では、お互い“負けられない、負けたくない”という気持ちが強かったと思います。一進一退の攻防が続き接戦でした。序盤から相手のペースにのまれリードを許してしまいました。でも諦めずに粘りのプレーで逆転し、1セット目を取ることが出来ました。しかし、気の緩みからか2セット目を奪われ、焦りが見えました。最後はみんなの気持ちが一つになり、その思いがプレーに繋がって優勝を奪還することが出来ました。

昨年で連覇は途絶えてしまいましたが、また来年、再来年も勝っていけるように頑張りたいと思います。

最後に大会の開催、運営にご尽力いただいた実行委員の皆様並びに京都私立病院協会事務局、関係者の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

第37回病院対抗女子バレーボール大会  
決勝大会（10月13日・10月19日）組み合わせ



優勝 京都下鴨病院チーム



準優勝 宇治徳洲会病院チーム

## 第37回病院対抗女子バレーボール大会 決勝大会（2日目）試合結果

### 準々決勝

#### 第1試合

宇治徳洲会病院	21	-	15	医仁会武田総合病院
	2		21	0
京都下鴨病院	19	-	21	京都きづ川病院
	2		21	1
			21	13

#### 第2試合

新河端病院	17	-	21	京都大原記念病院
	0		13	2
宇治武田病院				洛和会みささぎ病院
不戦勝				

### 準決勝

宇治徳洲会病院	21	-	20	京都大原記念病院
	2		21	0
宇治武田病院	19	-	21	京都下鴨病院
	1		21	2
			11	21

### 決勝

宇治徳洲会病院	19	-	21	京都下鴨病院
	1		21	2
			11	21

- ◎優勝 京都下鴨病院チーム
- ◎準優勝 宇治徳洲会病院チーム
- ◎第3位 宇治武田病院チーム
- ◎第3位 京都大原記念病院チーム
- ☆最優秀選手 京都下鴨病院 河村 美里さん